

令和4年度 しずおか食の安全推進のための意見交換会 議事録

開催日時：令和4年12月16日（金）14:00～15:30

開催場所：県庁西館4階第1会議室B

出席者：別紙参照

概要

1 開会

2 しずおか食の安全推進幹事会 幹事長（健康福祉部生活衛生局長） 挨拶

3 報告

「令和3年度第2回しずおか食の安全推進のための意見交換会」の御意見と対応

4 議題

(1) 前「しずおか食の安全推進のためのアクションプラン」の実績

(2) 新「しずおか食の安全推進のためのアクションプラン」の進行状況

発言者	発言要旨（意見及び回答）
事務局	「令和3年度第2回しずおか食の安全推進のための意見交換会」の御意見と対応 前「しずおか食の安全推進のためのアクションプラン」の実績 新「しずおか食の安全推進のためのアクションプラン」の進行状況 について説明
(一社)静岡県食品衛生協会 専務理事	5ページの中段にある遺伝子組み換え食品の監視指導検査について、違反件数が0件となっているが、母数としては何件くらい検査をした中での0件なのか。
衛生課長	遺伝子組み換え食品については、県民の意識調査の中で、「食品について不安を感じる項目」として毎回上位に上がっている項目であり、毎年60検体を計画的に検査している。内容については、食品表示法に基づく検査を30検体、食品衛生法に基づく検査を30検体の計60検体である。 食品表示法については、原材料名のみ、又は遺伝子組み換え食品でないという食品、例えば、豆腐、コーンスナック菓子などを収去して検査している。食品衛生法に基づく検査は外国産の原材料を使用しているトウモロコシ、コメ加工品などについて、国内で認められていないものが混じっていないか確認するための検査している。 実績としては違反なしという事である。 県民の皆様にも結果も含めて表示制度について広く啓発周知をしていきたい。
(一社)静岡県食品衛生協会 専務理事	ありがとうございます。

(3) しずおか食の安全推進幹事会の関連事業

発言者	発言要旨（意見及び回答）
関係課	しずおか食の安全推進幹事会の関連事業について説明
静岡県消費者団体連盟 会長	<p>不当表示の関係になるかと思うが、清涼飲料水で果汁がたっぷり入っているという感じを受ける商品が非常に多くなっている。これは、いちごオ・レですが、いちごのイラストがぼっちり入っているが、実際は無果汁である。消費者は果汁が入っているような印象を受けると思う。これはゆずレモンのパッケージである。ゆずが1%しか入っていないが、これも全面にゆずの絵があり、たくさん入っているような印象を受ける。これは栃木県産にっこり和梨で果汁10%未満となっているが、「未満」という表現は曖昧なので何%かをはっきり表示してほしい。これは、アルコールの入った飲料だが、レモンの輪切りの写真がついている。輪切りのものを付けられるのは果汁が100%のものに限ることになっているはず。これらの商品は消費者に誤認を与える不当表示になっていると思う。特に最近、こういった飲料が多くなってきている。</p> <p>果実飲料公正取引協議会では、無果汁や果汁5%未満のものについては、果実の写真やイラストは使ってはいけない事になっていて、例外的に平面的に図案化したものは問題ないとしている。先ほどのパッケージは、立体的な感じがするので、不当表示に当たると思う。是非、県で検討し、消費者庁や公正取引委員会にあげていただければと思っている。</p> <p>もう1点は、加工食品や生鮮食品など常温という表示があるが、常温については、幅があり地域や季節によって変わってくると思う。一般的には15℃から25℃を指している。日本工業規格では5℃から35℃と幅が広い。日本薬局方の整理では15℃から25℃となっている。卵は10℃以下で保存して下さいと表示されているため、卵のように、きちんと温度表示していただけないかと思っている。</p> <p>消費者にとっては、冬の常温と夏の常温、北海道や九州沖縄の常温が違うと思うので、常温という表示の仕方はやめて、はっきりと何度以下と書いていただければありがたいし、食の安全にもつながっていくかと思っている。</p>
県民生活課 事業者指導班長	<p>無果汁やパーセンテージについてイラストが平面的は良いが立体的なものはだめではないかと意見をいただいた。消費者がどのような印象を受けるのかというのが非常に規定としてはあいまいな部分で、それを、良いか悪いか判断する事が難しいと思っている。このような表示について、県民生活課に情報をいただければ、事案として必要なものについて、随時、公正取引協議会に情報提供するような体制をとっている。</p>
衛生課長	<p>保存方法のあいまいな表示についてですが、表示方法については、食品衛生法上、保存基準が定められている食品は必ず5度以下とか10℃以下とか、具体的な温度を表示することになっている。</p> <p>保存基準で決められていない食品については、製造者が食品に与える影響を鑑みて、常温で保存した場合の保証できる部分を表示している。影響がある場合には、基準とは別で、わかりやすい表示をすべきだと思う。</p> <p>法的には、保存基準が定められている食品のみに具体的な温度表示がされることになっている。ご意見については、食品事業者等に伝えてまいりたい。</p>

静岡県消費者団体連盟 会長	ありがとうございました。
静岡県生活協同組合連合会 常務理事	<p>6 ページのアレルギーの表示違反について、実績を見ると件数が増えていると思う。色々な所に聞くと、アレルギーを持っている人が増えていて、特に子供さんについても同様であり、アレルギーを持っているという子供がクラスに何人かいるというような傾向である。</p> <p>そこで、27 ページを見ると、学校職員の栄養教諭や職員の研修が行われているという報告がある。学校給食というのは子供たちにとって、とても大切な役割をはたしていると思うが、この資料では、栄養教諭、学校栄養職員、養護教諭、中堅教諭等が対象になっている。</p> <p>アレルギーについては、給食によって、色々なヒヤリハットのような事例も多く、実際にドクターヘリで運ばれたという事例も聞いている。</p> <p>そこで、学校給食の研修については、給食関係者だけでなく、学校管理者、給食を配っている教員など、関わる全ての教員に受けさせて欲しい。</p>
衛生課長	研修会への参加でなくとも、内容のフィードバック等も有効な手段であると思う。教育委員会健康体育課の幹事が欠席であるため、御意見についてお伝えさせていただく。
静岡県立大学 食品栄養科学部 教授	5 ページ食品表示の適正化の項目について、お茶は不適正な表示割合となっていて、しいたけについては、適正な表示割合となっている。片方が不適正で片方は適正となっているので、統一した方がよいのではないかな。
事務局	ご指摘の通り、わかりにくいので、今年度からの新しいアクションプランでは、指標について統一して記載している。
静岡県立大学 食品栄養科学部 教授	16 ページの資料に記載されている監視件数は5 ページの食品表示の適正化の推進に記載されている食品表示調査件数は含まれているのか。
衛生課長	5 ページの食品表示調査件数の中に含まれている。
静岡県立大学 食品栄養科学部 教授	5 ページの食品表示適正化の管理指標について、お茶としいたけに特化している理由は何かな。
衛生課長	静岡県の重要な特産品であり、加工範囲が広い食品だからである。
静岡県立大学 食品栄養科学部 教授	みかんやわさびも特産品であると思う。 しいたけやお茶に特化している理由がわからなかったため、聞いてみた。
静岡県立大学 食品栄養科学部 教授	19 ページの健康食品の安全対策の実施ということで、成分分析をしているとあるが、これは、医薬品成分を計っているのか、それとも、機能性成分を計っているのかどちらかな。製品の中には、機能性成分が入っていると記載してあるが、実際には入っていないものがあつた。
薬事課長	医薬品成分を計っている。

静岡県立大学 食品栄養科学部 教授	わかりました。
静岡県立大学 食品栄養科学部 教授	20 ページの機能性表示食品開発支援について、 機能性成分は分析しているとの事だが、分析機関というのは精度管理をしっかりと しているような機関で分析しているという認識でよいか。
経済産業部新産 業集積課 新産 業集積班長	調べて回答させていただく。
静岡県立大学 食品栄養科学部 教授	わかりました。 例えば、生鮮食品だと時期によって成分が変わる可能性がある。この分量は毎回、 計測するのか。
経済産業部新産 業集積課 新産 業集積班長	サンプル数を決めて計測している。詳細は把握していない。
静岡県立大学 食品栄養科学部 教授	わかりました。
静岡県立大学 食品栄養科学部 教授	21 ページのしずおか食セレクションについて、認定基準の中で「明らかに違う機能や 特徴」とあるが具体的にはどのようなものがあるか
マーケティング 課 課長代理	他の商品との差別化を図れるかどうかを確認して認定している。 具体的には、例えば今年「富士山白糸こしひかり」が認定されたが、化学肥料を一切 使用せず、甘味が強いなど、特徴的なPRポイントの事である。
静岡県立大学 食品栄養科学部 教授	ありがとうございました。
静岡県立大学 食品栄養科学部 教授	22 ページのGAP 認証取得の推進について、GAP の認証は何が一番多いのか。
食と農の振興課 長	農林水産物が一番多いのはお茶で、次がみかんである。 後は、トマトや米など農林水産物が幅広く認証されている。畜産物は 48 農場、水産 物は 46 件となっている。
静岡県立大学 食品栄養科学部 教授	水産物や畜産物はいろいろな品目が混ざっているという事ですね。 農業教育機関のGAP 認証取得とあるが、県の農林環境専門職大学は入っているの か。
食と農の振興課 長	入っています。県の農林環境専門職大学については、授業の中でGAP を取り入れて いて、県認証、JGAP、グローバルGAP などの制度を学んでいます。メロンや野菜 などの品目で認証を取得している。

静岡県立大学 食品栄養科学部 教授	ありがとうございました。
静岡県立大学 食品栄養科学部 教授	次に、23 ページのお茶の件ですが、残留農薬は茶葉で測っているか、製品で測っているか。
お茶振興課長	実際に分析する場面は、輸出の時であり、生葉や荒茶で分析する事はない。輸出国の規制に応じて計測しており、その必要性がないからである。
静岡県立大学 食品栄養科学部 教授	わかりました。
静岡県立大学 食品栄養科学部 教授	次に、26 ページの水産物の食の安全・安心の取組について、貝毒の検査を実施しているが、具体的にはなにを検査しているか。また、調査する時期はいつか。
水産振興課長	下痢性貝毒はオカダ酸、麻痺性貝毒については、マウスユニットで評価している。貝毒は温度が上がる時期と下がる時期に発生することが分かっているので、この時期に集中的に調査している。原因プランクトンについては、周年で調査している。
静岡県立大学 食品栄養科学部 教授	わかりました。
静岡県消費者団体連盟 会長	農薬の関係で、農林水産省が出しているみどりの食料システム戦略によると、ネオニコチノイド農薬は廃止していく方向となっている。3 年ほど前にお茶の残留農薬調査をしたが、その時は使っている生産者がいた。お茶農家の話ではその翌年から農協からネオニコチノイド系農薬の斡旋がなくなったと聞いている。現在、静岡県内でネオニコチノイド農薬は使っているのか。
食と農の振興課長	国ではみどりの食料システム戦略で 2040 年を目標にネオニコチノイドを使用しないで済むような技術の開発を打ち出しており、県内ではネオニコチノイドが使用されているのが現状である。国の戦略では 2050 年までにリスク換算で科学農薬を 50%低減する目標となっていることから、県内の産地と連携して、ニコチノイド農薬を含む化学農薬を低減する取組、例えば病害虫に強い品種の導入、天敵を使った防除など、総合的な防除技術を導入することにより、農薬の使用を低減する取組を推進していく。
(一社)静岡県食品衛生協会 専務理事	23 ページの中で、全国茶商工業協同組合連合会が「HACCP の考えた衛生管理のための手引書」が作成しているが、具体的な指導はどのようにしているか。
お茶振興課長	手引書が作成されたときには、業界団体が講習会を実施している。手引書自体は冊子になっているので、配布や周知をし、衛生的な加工ができるよう主には業界主導で進められている。

(一社)静岡県食品衛生協会 専務理事	静岡県はお茶について食品添加物の使用を禁止しているが、全国的にはどうか。
お茶振興課長	三重県では、食品添加物を原材料としたお茶が流通している。国の食品衛生法では食品添加物の使用は禁止されておらず、表示をすれば問題はない。静岡についてはナチュラルなお茶をマーケットに出すという姿勢の中で、静岡県の条例で規制し検査をしている。
(一社)静岡県食品衛生協会 専務理事	ありがとうございました。
衛生課長	本日、担当課が出席しておらず、質問にお答えできなかった部分については、次の意見交換会の場で対処できるように確認する。

4 その他 事務局から今後のスケジュールについて説明

5 閉会

しずおか食の安全推進のための意見交換会 出席者

(1) 学識経験者、消費者団体、業界団体

氏名	所属・役職
増田 修一	静岡県立大学食品栄養科学部 教授
小林 昭子	静岡県消費者団体連盟 会長
中村 範子	静岡県生活協同組合連合会 常務理事
山下 昌徳	静岡県経済農業協同組合連合会 みかん園芸部 部長
高瀬 進	静岡県漁業協同組合連合会 指導部長
遠藤 壽	(一社)静岡県食品衛生協会 専務理事

(2) しずおか食の安全推進幹事会 関係課

氏名	職名
漆畑 健	しずおか食の安全推進幹事長 (健康福祉部生活衛生局長)
山島 茂樹	くらし・環境部県民生活課 事業者指導班長
米倉 克昌	健康福祉部薬事課 課長
工藤 兼一郎	経済産業部新産業集積課 新産業集積班長
松本 芳倫	経済産業部マーケティング課 課長代理
酒井 信尚	経済産業部食と農の振興課 課長
増田 浩章	経済産業部お茶振興課 課長
欠席	経済産業部畜産振興課 課長
花井 孝之	経済産業部水産振興課 課長
欠席	教育委員会健康体育課 課長
太田 智恵子	しずおか食の安全推進委員会事務局 (健康福祉部衛生課長)